

# 岩手県 洋野町立種市中学校



	氏名	校長・教員
監督名	橋場 駿士	○
コーチ	千葉 高己	○
コーチ	野中 公一	

学校長	高橋 修
学校所在地	岩手県九戸郡洋野町種市25-29
電話	0194-65-2138

背番号	選手氏名	ふりがな	位置	学年	投	打
1	滝谷 柊太	たきや しゅうた	投手	3	右	右
②	相野 七音	あいの なおと	捕手	3	右	右
3	梨子 宙洋	なし みちひろ	一塁手	3	右	右
4	北澤 総星	きたざわ すばる	二塁手	3	右	右
5	金澤 彩斗	かなざわ あやと	三塁手	2	右	右
6	横手 来希	よこて らいき	遊撃手	3	右	右
7	北野澤 奎一郎	きたのさわ けいいちろう	左翼手	3	右	右
8	北澤 蓮	きたさわ れん	中堅手	3	右	右
9	谷地中 凜生	やちなか りお	右翼手	2	右	右
10	鹿島 笙汰	かしま そうた	内野手	2	右	右
11	鹿島 光	かしま ひかる	投手	2	右	左
12	玉沢 聖也	たまざわ せいや	内野手	1	右	右
13	北山 理人	きたやま まさと	内野手	1	右	右
14	穴津子 一樹	あなつこ かずき	外野手	1	右	左
15	林下 佳史	はやした けいし	外野手	1	右	右
16	榊 来夢	さかき らいむ	外野手	1	右	右
17	麦沢 陸	むぎさわ りく	外野手	1	右	右
18	澤田 隼人	さわだ はやと	内野手	1	右	右

第40回 全国中学校軟式野球大会 出場校紹介

東北ブロック 第2位	ふりがな いわてけん 学校名 岩手県	ひろのちょうりつたねいちちゅうがっこう 洋野町立種市中学校																																																																																				
チームの戦力分析																																																																																						
1 投手について																																																																																						
1番滝谷5番金澤の両右腕がチームを支える。滝谷は中学校入学後に球速が30km/hアップした切れのある直球と、腕を振って投げる緩急のある変化球が持ち味。牽制の技術やフィールディングにも長けており、どんな場面でも任せることができる。東北大会決勝ではリリース後、3回を自責点0で抑え自信を深めた。金澤はマウンド度胸満点の2年生。初回から持ち球の全てをコントロールすることができ、試合を作ることができる。岩手県大会ではお互いに助け合い5戦3完封、東北大会でも常に攻めの気持ちを持ち、チームに勝利をもたらした。全国大会でも持てる力を出し切り、1つずつアウトを積み重ねたい。																																																																																						
2 守備について																																																																																						
守備での合言葉は「当たり前を当たり前にすること」。この言葉の下、基礎を徹底し、県大会以降の1試合平均エラー数は1個を切る。岩手県選抜でも捕手を務めた2番相野は統率力に優れるチームの要。全体を見渡しての指示、フィールディング、リード等全幅の信頼を得ている。4番北澤は持ち味の堅実な守備に加えて肩の強さも大きく向上し、難しい体勢からでもアウトを取ることが出来る選手に成長した。8番北澤は前後左右共に判断良くスタートを切ることができ、守備範囲に自信がある。7番北野澤は入学以降最も成長した選手。強い打球に対して的確な判断をすることが出来る。全員で助け合い、守備からリズムを作りたい。																																																																																						
3 攻撃について																																																																																						
陸上競技でも県トップレベルの足を持つ2番相野3番梨子6番横手の足攻と、磨いてきた長打力で得点を積み重ねていきたい。打線を引っ張るのは1番バッターを務める相野。自らが出塁して得点を稼ぐことも、ポイントゲッターとして打点を稼ぐこともできる。梨子は一冬の鍛錬の成果もあり、球場でフェンス直撃打を打つなど圧倒的な飛距離を手にした。東北大会準決勝で流れを変え、3ベースを放った北澤にも長打力がある。相野につなぐ9番谷地中の役割も大きい。東北大会では準々決勝・準決勝で2安打ずつと結果を出した。これまで貫いてきた自分たちのスタイルを最後まで貫き通して戦っていきたい。																																																																																						
4 チームの特徴																																																																																						
「野球選手である前にアスリートであれ」「野球部は学校の模範生であれ」をモットーに文武両道を貫いてきた。部員18人と少数ながら、レギュラー1名を欠いた東北大会では11番鹿島が穴を埋めるなど全員野球で戦い、試合を通して成長してきた。県大会では延長11回の死闘を2度制し、東北大会準決勝では0-3から試合をひっくり返すなどアスリートとして磨いてきた精神力は折り紙付き。どんな試合展開でも最後は自分たちが勝つという強い気持ちを持って戦うことが出来る。選手たちは野球部員であると共に特設陸上部員としてどこにも負けない体づくりをしてきた。時間をかけて培った技術と体力を基盤に、自分たちのスタイルを最後まで貫いて勝ちに愛されるチームであり続けたい。																																																																																						
5 全国中学校軟式野球大会出場回数	1回	6 チーム成績(練習試合を含む) 30勝 5敗 0分																																																																																				
7 本大会までの軌跡(大会ごとに対戦相手とスコアを記入してください)																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">全軟九戸郡予選 大会</th> <th colspan="3">久慈 地区大会</th> <th colspan="3">都道府県大会</th> <th colspan="3">ブロック大会</th> </tr> <tr> <th>回戦</th> <th>スコア</th> <th>対戦校</th> <th>回戦</th> <th>スコア</th> <th>対戦校</th> <th>回戦</th> <th>スコア</th> <th>対戦校</th> <th>回戦</th> <th>スコア</th> <th>対戦校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回戦</td> <td>2-3</td> <td>宿戸中</td> <td>2回戦</td> <td>11-0</td> <td>夏井中</td> <td>1回戦</td> <td>4-0</td> <td>大船渡中</td> <td>準々決勝</td> <td>4-2</td> <td>浅川中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>準決勝</td> <td>0-4</td> <td>大野中</td> <td>2回戦</td> <td>9-8</td> <td>福岡中</td> <td>準決勝</td> <td>4-3</td> <td>米沢二中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>順位決定戦</td> <td>14-3</td> <td>野田中</td> <td>準々決勝</td> <td>5-0</td> <td>矢巾中</td> <td>決勝</td> <td>0-5</td> <td>秀光中教校</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>準決勝</td> <td>2-0</td> <td>見前中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>決勝</td> <td>4-2</td> <td>久慈中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			全軟九戸郡予選 大会			久慈 地区大会			都道府県大会			ブロック大会			回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	1回戦	2-3	宿戸中	2回戦	11-0	夏井中	1回戦	4-0	大船渡中	準々決勝	4-2	浅川中				準決勝	0-4	大野中	2回戦	9-8	福岡中	準決勝	4-3	米沢二中				順位決定戦	14-3	野田中	準々決勝	5-0	矢巾中	決勝	0-5	秀光中教校							準決勝	2-0	見前中										決勝	4-2	久慈中			
全軟九戸郡予選 大会			久慈 地区大会			都道府県大会			ブロック大会																																																																													
回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校																																																																											
1回戦	2-3	宿戸中	2回戦	11-0	夏井中	1回戦	4-0	大船渡中	準々決勝	4-2	浅川中																																																																											
			準決勝	0-4	大野中	2回戦	9-8	福岡中	準決勝	4-3	米沢二中																																																																											
			順位決定戦	14-3	野田中	準々決勝	5-0	矢巾中	決勝	0-5	秀光中教校																																																																											
						準決勝	2-0	見前中																																																																														
						決勝	4-2	久慈中																																																																														
8 学校紹介(開会式のアナウンスの参考にさせていただきます)																																																																																						
洋野町は岩手県の最北端に位置し、太平洋に面して背後に丘陵地帯が起伏しており、平成18年に旧種市町と旧大野村が合併し誕生した。学校は、昭和22年の創立以降、校名は継承しているが、昭和36年に平内中学校、平成18年に大和中学校、平成22年に角浜中学校、城内中学校と統合した。生徒会活動では「戮力一進」をスローガンに、三大文化である「挨拶・合唱・奉仕」を発展させるべく各行事や部活動に取り組んでいる。																																																																																						
9 主将の抱負																																																																																						
私たちは夏に勝って笑う価値のある人間になるため、「野球選手である前にアスリートであれ」「野球部は学校の模範生であれ」のモットーを心に刻み、日々の練習や学校生活に取り組んできました。また、東日本大震災や西日本豪雨災害で野球が出来なくなったり、避難生活を送ったりしている方もいる中で、めいっぱい野球に取り組んでいることに感謝の気持ちを持ち戦ってきました。全国大会ではグラウンドでの全力プレーを通して、支えてくれた方々に加え、開催地広島の方々へも感動・勇気・感謝の気持ちを伝えていけるよう、精一杯プレーしたいと思います。																																																																																						